

[報道関係各位] 【2020年6月16日】

第16回 JPCA 賞(アワード) JPCA 奨励賞受賞のお知らせ

ヒロセ電機が EV・HEV の基幹製品であるインバータ・モーターコントローラ等パワートレインの内部接続用に開発した、140℃耐熱・高耐振構造基板対基板フローティングコネクタ “FX26 シリーズ”が、米国 ラスベガスで開催された電子機器の展示会 CES 2020 の Innovation Awards 受賞に引き続き、第16回 JPCA 賞 (アワード) にて JPCA 奨励賞を受賞いたしました。

● 第16回 JPCA 賞(アワード)について

JPCA 賞は、一般社団法人日本電子回路工業会 (JPCA) が募集した製品・新技術紹介「NPI (New Product Introduction) プレゼンテーション」の中から、JPCA 賞の審査にエントリーされたものを対象としています。

今年は15件のエントリーの中から、学术界、電子回路業界、専門誌編集者等有識者で構成される JPCA 賞 (アワード) 選考委員会により『独創性 (独自性・オリジナリティ)』、『産業界での発展性・将来性』、『信頼性』、『時世の適合性』を基準として厳正に審査のうえ、選出されました。

このたび受賞した FX26 シリーズは、自動車パワートレインの内部接続において、接続部を基板対基板に置き換えた際の応力集中を、接続部にフローティング構造を導入することによって克服し、優れた耐振性、耐熱性を特徴にもつ点が評価され受賞に至りました。

● 特長 FX26 シリーズ

FX26 シリーズは、EV・HEV の基幹製品であるインバータ・モーターコントローラ等パワートレインの内部接続用に開発された、140℃耐熱・高耐振構造基板対基板フローティングコネクタです。従来、駆動系装置の内部接続には基板対ケーブルコネクタが多用されていましたが、EV・HEV の生産台数が飛躍的に増加する中で組立効率を改善することが大きな課題になっています。一方、基板対基板コネクタは組立効率に優れるものの耐熱・耐振性と小型化に課題があり、普及が進んでいませんでした。



FX26 シリーズはパワートレイン内部接続向けでも安心して使って頂ける品質を達成しており、従来のケーブルコネクタ置き換えによる組立性の向上とトータルコストの低減をサポートします。さらに、端子間1mmの狭ピッチを実現したことで、小型化も実現。アプリケーションの小型化を可能にし、セットの付加価値向上に寄与します。

FX26 が有するこれらの特長をご評価いただき、多くのお客様のご採用・引合いを頂いております。

【報道機関からのお問い合わせ】ヒロセ電機株式会社 デジタルプロモーション課 課長：山田理絵

hrs.info.2c@hirose-gl.com TEL:045-620-3575

● 今後の展開

2020年6月に30芯20mmハイト、40芯18mmハイト、60芯25mmハイトをリリースいたしました。今後も下記の通りバリエーションを拡充する予定です。

- ・ 極数： 20, 30, 40, 50, 60 芯
- ・ かん合高さ： 12~25 mm (12, 15, 17, 18, 20, 25 mm)

車載品質を満たす信頼性の高い設計は、同様に厳しい環境に晒される産業用機械等のアプリケーションでもご使用頂けます。

● 会社概要、関連情報

■ 会社概要

ヒロセ電機 https://www.hirose.com/corporate/ja/about/corporate_data/

■ FX26 シリーズについて

特集ページ <https://www.hirose.com/product/jp/pr/fx26/>

製品画像 <http://prd-4s-public.s3.amazonaws.com/upload/corporate/file/FX26.png>

■ 第16回 JPCA 賞(アワード)

https://www.jpca-show.com/show2020/jp/event/jpca_award.html